



月2回刊=1416号  
2014年7月15日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジョー印刷企画 一部 40円 組合員購読料は組合費に含む

# 月例給・時金とも引き上げ勧告求める

## 「分会決議」人事院総裁宛ハガキで怒りの声を

### 公務員連絡会が人事院に要求書提出し人勤期の取り組みスタート

自治労公務員連絡会の委員長クラス交渉員は、6月19日永長(ながおさ)人事院事務総長との交渉を実施し、「2014年人事院勧告に関わる要求書」を提出した。

本年の人事院勧告をめぐることは、民間の賃上げ状況を踏まえ、月例給、一時金とも引き上げ勧告を求めている。給与制度の総合的見直しについては、地域間格差の拡大、高齢層や技能・労務職員の給与水準引き下げには反対し、一方的な勧告を行わせない取り組みが重要になっている。

### 交渉状況

冒頭、自治労・公務員連絡会から、次のことを質した。

●民間給与

本年の春闘では賃金水準

の引き上げが実現するとともに、一時金も昨年を上回る結果となった。賃金水準



人勤に係る要求書を提出し、交渉する公務員連絡会交渉団



交渉に臨む人事院側(中央が永長人事院事務総長)



今年度の運動方針などについて議論した青年婦人部大会

は引上げ方向であることに間違いはないと認識している。こうした民間の状況を踏まえたとき、公務員自身の処遇改善はもとより、社会的な影響を含めて、月例給、一時金のいずれも引き上げ

ことを重ねて申し上げる。この発言を受け、人事院からは、「公務をめぐる情勢は、依然として厳しい状況

勧告が求められる。給与制度の総合的見直し

昨年夏に報告した「給与制度の総合的見直し」では、見直しの必要性について納得できる説明を求めてきたが、未だに合点がいかない。

地域の給与を引き下げ、どうして職員の士気や組織活力が維持・向上することになるのか全く理解できない。地域間格差を拡大し、高齢層や技能労務職員の給与水準を引き下げるような見直しには反対であることを重ねて申し上げる。

公務員の賃金をはじめとする労働条件をめぐるさまざまな課題について、具体的な要求事項の実現を求め、人事院の使命としてその解決を図るべきである。今後、交渉を積み上げていくが、しかるべき時期に要求に対する最終的な回答を求める。

この発言を受け、人事院からは、「公務をめぐる情勢は、依然として厳しい状況

一方の勧告を行わないことを強く求める。

●人事院に対して

公務員の賃金をはじめとする労働条件をめぐるさまざまな課題について、具体的な要求事項の実現を求め、人事院の使命としてその解決を図るべきである。今後、交渉を積み上げていくが、しかるべき時期に要求に対する最終的な回答を求める。

この発言を受け、人事院からは、「公務をめぐる情勢は、依然として厳しい状況

一方の勧告を行わないことを強く求める。

●人事院に対して

公務員の賃金をはじめとする労働条件をめぐるさまざまな課題について、具体的な要求事項の実現を求め、人事院の使命としてその解決を図るべきである。今後、交渉を積み上げていくが、しかるべき時期に要求に対する最終的な回答を求める。

この発言を受け、人事院からは、「公務をめぐる情勢は、依然として厳しい状況

一方の勧告を行わないことを強く求める。

●人事院に対して

公務員の賃金をはじめとする労働条件をめぐるさまざまな課題について、具体的な要求事項の実現を求め、人事院の使命としてその解決を図るべきである。今後、交渉を積み上げていくが、しかるべき時期に要求に対する最終的な回答を求める。

この発言を受け、人事院からは、「公務をめぐる情勢は、依然として厳しい状況

一方の勧告を行わないことを強く求める。

●人事院に対して

公務員の賃金をはじめとする労働条件をめぐるさまざまな課題について、具体的な要求事項の実現を求め、人事院の使命としてその解決を図るべきである。今後、交渉を積み上げていくが、しかるべき時期に要求に対する最終的な回答を求める。

この発言を受け、人事院からは、「公務をめぐる情勢は、依然として厳しい状況

一方の勧告を行わないことを強く求める。

●人事院に対して

公務員の賃金をはじめとする労働条件をめぐるさまざまな課題について、具体的な要求事項の実現を求め、人事院の使命としてその解決を図るべきである。今後、交渉を積み上げていくが、しかるべき時期に要求に対する最終的な回答を求める。

この発言を受け、人事院からは、「公務をめぐる情勢は、依然として厳しい状況

一方の勧告を行わないことを強く求める。

●人事院に対して

公務員の賃金をはじめとする労働条件をめぐるさまざまな課題について、具体的な要求事項の実現を求め、人事院の使命としてその解決を図るべきである。今後、交渉を積み上げていくが、しかるべき時期に要求に対する最終的な回答を求める。

この発言を受け、人事院からは、「公務をめぐる情勢は、依然として厳しい状況

一方の勧告を行わないことを強く求める。

●人事院に対して

公務員の賃金をはじめとする労働条件をめぐるさまざまな課題について、具体的な要求事項の実現を求め、人事院の使命としてその解決を図るべきである。今後、交渉を積み上げていくが、しかるべき時期に要求に対する最終的な回答を求める。

この発言を受け、人事院からは、「公務をめぐる情勢は、依然として厳しい状況

一方の勧告を行わないことを強く求める。

●人事院に対して

公務員の賃金をはじめとする労働条件をめぐるさまざまな課題について、具体的な要求事項の実現を求め、人事院の使命としてその解決を図るべきである。今後、交渉を積み上げていくが、しかるべき時期に要求に対する最終的な回答を求める。

この発言を受け、人事院からは、「公務をめぐる情勢は、依然として厳しい状況

一方の勧告を行わないことを強く求める。

**賃貸だからカンケーナイ?**

火災共済・自然災害共済は家財だけでも加入でき、「再取得価額」で保障されるってご存じでしたか?

自然災害共済に大型タイプが登場!

いちろうの火災共済+自然災害共済

自治労共済本部

●詳しくは所属する組合まで

## 定例の学習会で情報共有を

### 青年婦人部が第51回定期大会開催

6月28日、盛岡市にある「水産会館」にて51回目の青年婦人部定期大会を開催した。これまでの活動を総括し、今年度の運動方針を決めた。運動方針には次の2点を盛り込んだ。

1点目は、毎月1日以上自分や家族のために年次休暇を取ること。職員不足等により休暇が取りづらい職場が増えているため。目の前の業務を無理してこなしていると心身が壊れてし

また損をしても気付かないためだ。これまで、県全体で学習会を開催してきたが、県内から一か所に集まるのは大変との声がある。忙しさを我慢からくるストレス解消には、心と体を仕事から切り離し、リセットするのが一番だ。積極的な夏季休暇の取得で、自分の趣味や家族サービスなど、充実した時間を過ごす。



青年婦人部大会で発言する代議員

況である。人事院としては国会と内閣に必要な報告・勧告を行うという責務を着実に果たしていく。今後、本年の勧告に向けて要求された課題について皆さんの意見も聞きながら検討を進めていくこととした。

給与制度の総合的見直しについては、地域間、世代間の給与配分の見直し等の課題に対応する必要があると考えており、引き続き皆さんをはじめ関係者とも意見交換を行いながら、検討を進めてまいりたい。」との回答があった。

2014年人勤期闘争は、人事院への要求書提出以降、公務員連絡会と人事院との交渉が本格化していくことになる。県職労としても、全国の仲間とともに

りくみを行っていく。

**現段階での取り組み**

①分会決議の取り組み

7月7日まで(190分会2091筆)

②総裁宛ハガキ

7月7日まで(1501枚)

**集雲等の取り組み**

①ブロック別上京行動

7月8日(県職労6人参加)

②中央行動

7月29日(県職労7人参加)

③全国統一行動

④対県・人事委員会への要請行動 等を実施していく。

給与制度の総合的見直しについては、地方でできる取り組みをしっかりと進め、中央段階での取り組みに結集していく。

組合員の皆さんのご協力をお願いする。

最近、脱法ハ

1ブの吸引を原

因とした人身事

故が相次いでい

る。先月24日に

は東京の池袋で

8人が死傷する

暴走事故があり、

今月5日には同

じく板橋で車線逆走シタ

クシーに衝突、8日には仙

台でも事故を起こし逮捕者

がでている▼警察庁による

と、脱法ドラッグの使用後

に交通事故を起こして危険

運転致傷容疑など交通法令

違反で摘発されたのは09

〜11年まではゼロだった

が、12年に19人、昨年は40

人と急増している▼薬は効

き目で規制することはでき

ず、規制根拠は「成分」で判断

せざるを得ない。このため、

違法とならない薬物でも危

険な症状が発生することが

ある▼日頃のストレスや不

安感から、こうした薬に手

## 第五世代

最近、脱法ハ  
1ブの吸引を原  
因とした人身事  
故が相次いでい  
る。先月24日に  
は東京の池袋で  
8人が死傷する  
暴走事故があり、  
今月5日には同  
じく板橋で車線逆走シタ  
クシーに衝突、8日には仙  
台でも事故を起こし逮捕者  
がでている▼警察庁による  
と、脱法ドラッグの使用後  
に交通事故を起こして危険  
運転致傷容疑など交通法令  
違反で摘発されたのは09  
〜11年まではゼロだった  
が、12年に19人、昨年は40  
人と急増している▼薬は効  
き目で規制することはでき  
ず、規制根拠は「成分」で判断  
せざるを得ない。このため、  
違法とならない薬物でも危  
険な症状が発生することが  
ある▼日頃のストレスや不  
安感から、こうした薬に手  
を出す人が多いと言われて  
いる。日々の焦燥感から脱  
するために、薬の作用によ  
る高揚感を求めても、必ず  
副作用が伴い何の解決にも  
ならないのに、今月から  
夏季休暇が5日間取得でき  
る。忙しさを我慢からくる  
ストレス解消には、心と体  
を仕事から切り離し、リセ  
ットするのが一番だ。積極  
的な夏季休暇の取得で、自  
分の趣味や家族サービスな  
ど、充実した時間を過ごす。

広島・長崎原爆病院へのお見舞金、代表団派遣資金の一部に皆さんの善意を！

**原水禁カンパにご協力をお願いします。**

1945年8月6日午前8時15分、広島に、9日午前11時2分、長崎に原子爆弾が投下されてから69年目の夏を迎えます。この原爆による死者は44万8千人余に達しています。また、未だ大勢の被爆者の方々が被爆による後遺症に苦しんでいます。

平和環境研センターでは、昨年に引き続き県代表団及び子ども代表団の派遣を行うとともに、広島・長崎の日本赤十字病院に対しお見舞金を届けることにしています。

皆さんの善意のカンパをお願いします。

**「戦争させない！岩手県委員会」賛同人募集にご協力を！**

賛同人と賛同金（個人）・一口500円

安倍内閣は、さまざまな声を無視してわずか19人の閣僚によって日本の針路を大きく変える「集団的自衛権行使」の閣議決定を強行しました。中央での「戦争させない！1000人委員会」の発足を受け、岩手でも「戦争させない！岩手県委員会」が発足しました。「集団的自衛権行使」反対の取り組みを行っていくために、賛同人と賛同金・一口「500円」を募っています。

賛同金はチラシ作製や意見広告費用などに使われます。

多くの職員の皆さんのご協力をお願いします。（詳しくは各支部書記局までお問い合わせください。）



“若者を戦場に送るな”デモ行進でシュプレヒコール



県職労の参加者も「行使容認反対」を訴えて北上市内をデモ行進



黒沢尻体育館での「戦争させない！県民総決起集会」

# 「集団的自衛権」の行使容認は憲法破壊だ

## 安倍政権の暴挙を許すな

**軍隊で平和は守れない！北上市で抗議の集会開く**

戦争させない岩手県委員会（石橋乙秀代表呼びかけ人代表・弁護士）は、5日、「集団的自衛権の行使容認」について閣議決定したことに抗議する「戦争させない県民総決起集会」を北上市民黒沢尻体育館において開催、400人が参加した。主催者を代表してあいさつに立った石橋代表は、「怖い世の中になつてきた。普通に戦争ができる国へと突き進む安倍政権に対し、白紙撤回を求め、県民の1割にあたる13万人署名に向けて粘り強く取り組みを進めていこう」と呼びかけた。

集会は、前段に作家の佐高信さんと文筆家の北原みのりさんが、自・公政権やそれを支持する世論について対談形式で解説。その後、「安倍自・公政権の暴挙に断固抗議し、閣議決定の白紙撤回を求め」とする集会アピールを採択。参加者全員で「平和憲法を守れ」「若者を戦場に送るな」「戦争反対」などシュプレヒコールをあげながら北上市内をデモ行進した。

**『夏季休暇』でシフトシミュレーション**

取り組みの成果です！今年から1日増の「5日間」に拡大！

**「総合的見直し」阻止、人事院前で交渉団を支援 7.8北海道・東北ブロック決起集会**

公務員連合会2014年助成プログラム「7.8北海道・東北ブロック決起集会」

日本消防会館大ホールで開かれた7.8決起集会

人事院前で交渉団を支援する県本部参加者

「給与制度の総合的見直し」阻止・第2次ブロック別上京行動（北海道・東北）が8日行われ、県本部から21人（県職労からは6人）が参加した。

決起集会場となった「日本消防会館」

ホールには北海道・東北各県から500人余が結集。情勢報告や決意表明が行われた後、人事院前に移動し、シュプレヒコールで交渉団の支援行動を行った。

**現業評議会 人員確保で知事あて要求書提出**

県土整備企画室、農林水産企画室にも要請行動

県職労現業評議会（遠藤哲美議長）は7月4日、熊谷人事課総括課長に対し人員確保や賃金改善等に関する知事あての独自要求書を提出した。

また、今年度末の退職予定者が該当する、県土整備企画室と農林水産企画室のそれぞれ主管課に対しても補充などに関する要請書を提出した。県土整備企画室は小笠原管理課長が、農林水産企画室は瀧澤管理課長がそれぞれ対応。現業評では今後、主管課との折衝を積み重ね、人事課との交渉に向けて取り組みを進めていくこととしている。



熊谷人事課総括課長に要求書を手わたす遠藤現業評議長（右）



人事課当局と意見交換する現業評執行部

**共済本部岩手県支部**

家計にやさしい掛金で、忙しいあなたを応援します

# 団体生命共済などスポット募集

申し込み期間 8月20日～9月12日 11月保障開始

<b>団体生命共済</b> ライフスタイルに合った保障	<b>長期共済</b> セカンドライフを応援	<b>税制適格年金</b> セカンドライフの充実を
<b>親子共済</b> 教育資金の積み立て+万一の保障	<b>火災共済</b> 大切な住宅・家財を守る	<b>自然災害共済</b> 風水害・地震・盗難まで
		<b>交通災害共済</b> 国内はもちろん国外での事故も

1年更新なので、みなさんのライフプランにあわせて毎年保障を見直すことができます。

**じちろうの団体生命共済**  
●詳しくは所属の支部書記局までお問い合わせ・お申し込みください

**全労済 自治労共済本部**  
全日本自治体労働者共済生活協同組合